企業の経営に役立つ総合的な情報誌

あきた商工Biz plus

2026年11月発行
Vol.617
秋田県商工会連合会報

奇数月１日発行
発行日／令和８年11月1日
（昭和45年12月３日第３種郵便物認可）

見て、味わって、感じる
「あきた県南“食と文化”の観光まつり」開催



西馬音内盆踊り（羽後町）


昆布削りの実演（横手市）


日本酒の呑み比べ


美郷まんま・ため中（美郷町）

変革に挑戦

今月のテーマ

「事業承継計画」を策定しませんか？

今回は、事業承継支援を受けた会員事業所の事例をご紹介します。

Contents

P.2~3 秋田の未来を創る協議会 活動報告
P.4 個社支援の取組
P.5 事業承継状況
P.6 県連トピックス

「あきた県南“食と文化”の観光まつり」を開催しました

「秋田の未来を創る協議会」は、取組テーマの１つである「県南“食と文化”に関する広域観光の強化」の具体的活動として、10月３日（土）と４日（日）、湯沢市稲川にて「あきた県南“食と文化”の観光まつり」を開催しました。

「全国まるごとうどんエキスポ2026 in 秋田・湯沢」との共催、県南の“食と文化”の魅力発信等により、会場は２日間で約７万人の来場者で賑わいました。

また、周遊促進による観光消費の拡大に向けて、具体策につながるヒントを探るため、学生モニターツアーや視察の受入れを実施しました。



イベントの実施内容

「体験・試飲試食・販売」コーナー

県南の発酵文化ゾーン

「県南の発酵文化」をコンセプトに、日本酒や漬物、味噌・しょうゆ等の試飲試食、販売を通じて、発酵食の魅力をPRしました。

- 県南の日本酒「３種呑み比べ」の提供
- 漬物の試食・販売、味噌・醤油の販売





日本酒の呑み比べ

あきたの“食と文化”ゾーン

「あきたを「見る」「触れる」「味わう」」をコンセプトに、実演や体験、試飲試食を通じて、全県の“食と文化”の魅力をPRしました。

- 昆布削り実演・販売【横手市】
- 伝統菓子「しんこ細工」体験【湯沢市】
- 伝統菓子「練り切り」体験【羽後町】
- 特産トマトを使用した新商品の試食・販売【東成瀬村】
- あわびつかみ取り体験、特産品販売【八峰町】
- じゅんさい試食、特産品販売【三種町】



「しんこ細工」の体験



「練り切り」の体験

「食」コーナー

県南の郷土料理、ご当地グルメの販売を通じて、「麺文化」をはじめとした多様な食の魅力をPRしました。

- 稲庭うどん【湯沢市】
- 十文字中華、横手やきそば【横手市】
- 美郷まんま・ため中【美郷町】
- 西馬音内そば【羽後町】



西馬音内そば

県南の郷土芸能ステージ

県南の郷土芸能の披露や出演者によるご当地アピールを通じて、伝統文化や観光資源の魅力をPRしました。

- 鍋倉囃子【横手市】
- 西馬音内盆踊り【羽後町】
- 成瀬仙人太鼓【東成瀬村】
- 美郷ジャズオーケストラステージ【美郷町】
- 安藤兄弟Live×なまはげ太鼓【仙北市・男鹿市】
- 角館おやま囃子【仙北市】
- 秋田湯沢乃華芸妓【湯沢市】



鍋倉囃子の披露

広域観光強化に向けた取組

学生モニターツアーの実施

若者の視点から県南地区に「来てもらう」、「巡ってもらう」、「お金を使ってもらう」ためのアイディア、改善点を探っていただきました。ツアーの成果は、後日学生から報告いただく予定としており、若い感性とアイディアを今後の活動に活かしてまいります。

（ツアーの概要）

実施日	10月4日（日）
参加学生	11名 ・東北公益文科大学（酒田市）　6名 ・秋田大学　5名
行　程 （視察先）	①横手市　「増田蔵の日」イベント 町並みや内蔵の視察 ②湯沢市　本イベント 視察、体験、昼食 ③湯沢市　秋田銘醸㈱ 酒蔵見学 ④湯沢市　㈲石孫本店 「みそボール作り」体験





ツアーでの見学・体験

視察研修等の受入れ

商工会部会等の視察による本イベントの来場を積極的に受け入れ、2日間で11商工会・150名の方々から来場いただきました。

視察に当たって、県南の道の駅や観光施設等も併せて巡っていただき、イベントを起点とした地域の周遊につながりました。

無料シャトルバスの運行（よこて市商工会）

新たに「横手市十文字 ⇒ 増田（蔵）⇒ イベント会場」ルートを運行した結果、2日間で1,139名（3日：520名、4日：619名）の利用がありました。

特に、4日（日）は「増田蔵の日」開催日でもあり、2つのイベントを行き来する人の流れが多く見られました。



シャトルバス案内看板

広報の実施

○「うどんエキスポ」との連携による取組
・ポスター・チラシへの相互の情報掲載

○独自の取組
・協議会メンバーや道の駅、高速SAへのポスター配布
・インスタグラムによるイベント情報（事前・当日）の発信



インスタグラムの投稿（左：事前、右：当日）

今回は、三種町商工会の会員事業所の「事業承継」支援を受けた事例をご紹介します。

会員事業所取組事例　事業承継を契機とした新分野展開と法人化

株式会社オートボディコダマ　（三種町商工会）



代表取締役　児玉　宗一郎さん
所在地　三種町川尻
創業年月　昭和63年6月
事業承継年月　令和8年7月（法人成り）
従業員数　1名（役員3名）
事業内容　自動車販売、整備、鈑金塗装 他

相談のきっかけ

- 先代の児玉重吉さんは、後継者（息子）が5年間のディーラー勤務での修業を終えて帰ってくることを機に、事業承継を検討し始めた。
- 商工会職員から「新しい人材をどう活かして運営していくか」を問われ、具体的な計画を考えるようになった。
- 後継者が持つ「資格」や「技術」を活かすための設備等を整えるための計画づくりを商工会に相談した。

事業承継までの取組

令和4年5月

後継者が家業に従事するタイミングで事業承継計画の策定に本格的に着手

課題
- 後継者が習得したエーミング整備（※）等の技術を活かすための作業スペースと設備の不足が課題であった。
- この課題を解決するためには、高額な資金が必要であった。

計画
- 「第2工場の新設及び設備導入」を行う。
- 自動車特定整備に係る国の認証を受ける。
- 売上高目標1億円を掲げ、達成後に法人成りを行う。

令和4年8月～令和5年12月

事業再構築補助金の採択

- 「エーミング整備が可能な地域初の認証整備工場の実現」を目指し、事業再構築補助金を申請。
- 商工会の支援を受け、同補助金の採択を受ける。
- 補助金等を財源に第2工場の新設及び設備導入を行う。

令和6年1月

第2工場稼働、新事業に着手



完成した第2工場

令和7年1月

売上高目標1億円達成

令和8年4月～6月

専門家指導のもと事業承継・法人成りを進める

令和8年7月

事業承継・法人成り完了

※「エーミング整備」とは、自動車に搭載されている先進運転支援システム（ADAS）のカメラやレーダーの位置・角度を正確に調整する作業のこと。

先代の声

取締役 児玉　重吉 さん

私は当時、家業を継がなかったため、家業を息子に「継いでほしい」とは言えませんでした。ところが、自ら「継ぎたい」と話してくれたため、売上高目標達成後の法人化と事業承継を計画しました。商工会や専門家の支援のおかげで、これらの道筋と、目指す姿を明確にできたことが、特に良かったです。

この業界は技術の進歩が激しいため、一歩先より半歩先を行くくらいがちょうどいい。お客様と従業員を大切に、挑戦する姿勢を忘れず事業を続けてほしいです。



児玉重吉さん（左）と
児玉宗一郎社長（右）

後継者の声

代表取締役 児玉　宗一郎 さん

5年間の修業を終えて家業に入り働く中で、父が守ってきたもの、大切にしてきたものを引き継ぐ責任は重大だと感じてきました。

その一方で、受け継いだものを守るだけではなく、日々、新しい考えや新しいことにもチャレンジしていくことで、より高度な技術を身に付け、お客様のニーズに合わせたサービスを提供していけたらと思います。

商工会の声

三種町商工会 赤川　華子 経営指導員



相談を受け、「事業承継・引継ぎ支援センター」と連携のうえ、事業承継計画の策定を支援しました。

計画の策定により、自社の経営状態が「見える化」されて「今取り組むべき具体策」が明確になるだけでなく、引き継ぎ後の見通しが立つことで後継者の経営に対する不安の軽減や意識の向上にもつながります。「何から始めればいいか分からない」「後継者へどのように引き継ぐべきか迷っている」という方は、ぜひ商工会へご相談ください。

「まだ先の話」と思っていませんか？

今から考える！これからの事業承継

「事業承継は、まだ先の話…」そう考えている方も多いのではないでしょうか。事業承継は、早めの取組が重要です。今回は、秋田県内企業の現状を踏まえながら、事業承継について考えるきっかけ等をご紹介します。

秋田県内企業の現状

後継者不在率	社長平均年齢
73.7%	**62.6歳**
２年連続 全国最高	８年連続 全国最高

参照元：帝国データバンク秋田支店調査結果（2025年）

・県内企業の後継者不在率は全国で最も高く、社長の高齢化も進んでいます。
・事業承継は後継者決定だけでなく、日々の経営改善や整理に時間がかかるため、早めの取組がいかに不可欠であるか、認識を深めることが大切です。



「事業承継」を考え始めるきっかけ

まずは、こんなことから考えてみませんか？

・事業をどう残すか？
- ☐ ５年後、10年後も今の事業を続けていたい
- ☐ 事業を続けるのか、別の道を選ぶのか、一度整理したい
- ☐ 自分が引退した後の従業員や取引先のことが気になる
- ☐ 家族や従業員に事業を引き継いでもらいたい

・誰に引き継ぐか？
- ☐ 後継者はいるが、どんな準備が必要か知りたい
- ☐ 事業を引き継いでくれる人を探したい
- ☐ 家族以外の「誰か」に事業を引き継ぐ、という選択肢も考えてみたい

一つでも当てはまる項目があれば、「事業承継」について考え始めてみましょう

事業承継はその時になってからではなく早期の準備が「鍵」

・事業承継というと、単に「後継者を決める」「会社を譲る」といったイメージがあるかもしれません。
・しかし、実際には、後継者の選定と育成、経営状況の整理、取引先との関係性継続、財産や株式の整理など、準備には時間がかかります。
・また、後継者が見つからない場合でも、第三者への事業譲渡など、事業を残すための方法があります。
・だからこそ「誰に継ぐか」を決める前に「自分の事業をこれからどうしたいか」を考えることが大切です。
・早い段階で考え始めれば、選択肢を広げることにもつながります。

商工会は、経験豊富な専門家と連携し、事業者の未来を一緒に考えます

「何から考えればいいのか分からない」「まだ承継するかどうかも決まっていない」「家族にはまだ話していない」このような段階でも、ぜひご相談ください。

商工会では、事業者の皆さまの身近な相談窓口として、「事業承継・引継ぎ支援センター」や専門家、金融機関等とも連携しながら、今後の方向性を一緒に整理していきます。

「まだ早い」ではなく、「まずは話してみる」。事業のこれからを考えることは、事業承継の準備であると同時に、これからの経営を考える機会でもあります。

まずはお気軽に、商工会へご相談ください！

お知らせ

商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟との「情報交換会」

標記会議ををを9月14日（月）に開催し、県議会議員36名、商工会関係者38名が参加しました。会議では、「秋田ゆかりの起業家が切り拓く秋田の可能性」をテーマに、2人の起業家からドローンやAIなどの先端技術を活用した取組事例を発表いただき、これからの秋田の可能性について意見交換を行いました。



商工会活動を支援する県議会議員連盟



発表する櫻井氏（左）と佐々木氏（右）

発表事業者

事業所名	株式会社レッドクリフ（東京都）	氏　名	佐々木 孔明 氏（秋田市出身）
事業内容	ドローンショー企画・演出・運営　他		
コメント	定期開催型のドローンショーを秋田の歴史・文化・観光と融合させ、宿泊につながる観光コンテンツにしたい。		

事業所名	株式会社リベンリ秋田（仙北市）	氏　名	櫻井 誠 氏（函館市出身）
事業内容	ツキノワグマ等情報マップシステム「クマダス」管理　他		
コメント	若者の定着や移住のためにも、親世代が秋田での生活を楽しみ、子どもたちに「秋田に住み続けたい。」と思わせないといけない。		

第11回経営支援事例発表秋田県大会

標記大会を9月1日（火）に秋田市イヤタカで開催しました。県内商工会代表9名による日頃の支援成果発表を行い、会場とオンライン配信で全県の職員が参加しました。

【発表順】

商工会名	発表者	発表テーマ
仙北市	荒木田　美　咲	資金繰りの安定とBCP策定による経営基盤の構築支援
白神八峰	藤　田　彩　花	経営回復への道 モニタリングサービス活用による継続支援
湖東3町	佐々木　星　來	経営安定に向けた納税資金の可視化
藤里町	大　友　大　輔	居抜き物件活用による創業・伴走支援
大館北秋	髙　橋　慧　也	輸送業者の強みを生かしたリース業への参入支援 ～人脈を活用した新たなチャレンジ～
羽後町	高　橋　淳　美	物価高騰対策と販路拡大の並行支援
北秋田市	組　谷　光　輝	創業支援から経営者育成へ ーチーム伴走支援による創業者の自走化ー　最優秀賞
にかほ市	田　村　知　馬	秋田の漁業を未来に繋ぐ、六次産業化に向けた支援 ～海の厄介者を活用した収益構造改善の取組～
大仙市	加　納　　愛	心に寄り添う和尚さんの終活サポート 僧侶の終活サービス参入に対する創業支援



＜最優秀賞受賞者＞
組谷経営指導員



発表者及び審査委員との記念写真

第14回経営支援事例発表東北ブロック大会

標記大会が10月8日（木）に山形テルサで開催され、東北6県の商工会職員134名が参加しました。
本県代表の組谷光輝経営指導員（北秋田市商工会）は、優秀賞を受賞しました。

広　告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する４つの安心サポート
商工貯蓄共済
経営指導 経営のトータルサポート
生命保障 万が一に備えたリスク管理サポート
資金繰り 企業の資金繰りサポート
貯　蓄 資産の充実サポート
どちらも月々2,000円から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済
全国商工会会員福祉共済
「けが」の補償
「病気」の補償
「がん」の補償

VEGETABLE OIL INK
※この紙は再生紙を使用しています。
発行所／秋田県商工会連合会　〒010-0923 秋田市旭北錦町１番47号秋田県商工会館内　電話／018－863－8491㈹
購読料／１部10円（会費に含む）